

1. 科目名 ( 単位数 )	日本語学II ( 語彙・意味 ) ( 2 単位 )	3. 科目番号	EJJP2122
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	2 年次以上		
7. 講義概要	日本語を教えるには、語彙の意味や用法を知っておくことが基本となる。本講座では、「日本語の語彙・意味」に関する一般的な概論を行い、日本語教育における専門語について学ぶ。		
8. 学習目標	1) 語種、語の構成や語の体系など基本的な知識を習得する。 2) 語彙・意味に関する専門語を理解する。 3) 語彙・意味と社会の関係について考える。		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	1. 練習問題を解き、クラスで発表する。( 10 点 ) 2. 授業で作成したノートを授業後に提出する。( 20 点 ) 3. 授業内で提示されたテーマに関してレポートを作成する。( 40 点 )		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】学習内容をスライドで表示する。 【参考書】授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 語種、語の構成や語の体系を理解し、説明できるか。 2. 語彙・意味に関する専門語を理解できたか。 ○評定の方法 授業への出席・授業態度、課題・発表、期末試験等を総合して評価する。 1 授業への出席・授業態度 総合点の 30 % 2 課題・発表 総合点の 30 % 3 試験・レポートなど 総合点の 40 %		
12. 受講生へのメッセージ	日本語の単語の成り立ちや意味について様々な角度から考察する。日常生活において無意識に使用してきた語句にも注意を向けてみてほしい。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	ガイダンス ( 学習の進め方、課題、評価 )	事前学習	シラバスを読み、コースの概要を理解する。
		事後学習	スケジュールに沿って学習計画を立てる。
第 2 回	語彙、単語、形態素	事前学習	語彙と単語の違いを調べておく。
		事後学習	語彙、単語、形態素について整理する。
第 3 回	国語辞典、単語の使用範囲	事前学習	国語辞典の収録語数を調べておく。
		事後学習	国語辞典の収録語と使用する語を比較する。
第 4 回	単語の意味の広がりや変化、慣用句	事前学習	意味が変化した単語の例を探しておく。
		事後学習	単語の意味の広がりについて整理する。
第 5 回	品詞の分類	事前学習	日本語の品詞について調べておく。
		事後学習	品詞の種類を整理しておく。
第 6 回	品詞の転成	事前学習	品詞が別の品詞になった語の例を探す。
		事後学習	品詞の転成の種類を整理しておく。
第 7 回	単語のつながりと意味体系	事前学習	単語のグループ分けについて考える。
		事後学習	単語の意味体系について整理する。
第 8 回	単語の文体、位相	事前学習	状況によって使い分ける単語の例を探す。
		事後学習	単語の文体と位相について整理しておく。
第 9 回	単語の出自、語種	事前学習	外国から来た単語を探す。
		事後学習	語種について例を挙げながら整理する。
第 10 回	言語間での意味と語感の違い	事前学習	日本語と外国語で意味の違う語を探す。
		事後学習	言語間の意味と語感の差について整理する。
第 11 回	語の成り立ち、語構成	事前学習	単語がどのようにできたかを考える。
		事後学習	語構成について整理しておく。
第 12 回	単語の生産性、接辞、派生語	事前学習	新しくできたと思われる語を探す。
		事後学習	合成語の例を整理する。
第 13 回	擬音語・擬態語、略語	事前学習	擬音語と擬態語の例を探す。
		事後学習	擬音語と擬態語について整理する。
第 14 回	復習、レポート課題提示	事前学習	ノートを見直し、疑問点がないか確認する。
		事後学習	レポート課題に取り組む。
第 15 回	振り返り、アンケート	事前学習	レポート課題を完成させる。
		事後学習	今学期の学習を振り返り、課題を見つける。